２０２５年１２月２３日（火）

進路だより

Ｖｏｌ．37　第３４号（通巻 1379 号）進路指導部

冬 休 み を 前 に ～ 明日、明後日は校内共通テストプレ

今日で２学期も終了、いよいよ受験本番の時期を迎えました。繰り返しますが現役はまだまだ伸びます。体調管理に気をつけて、普段通りの生活リズムで、冬休みを過ごしてください。

この時期に「時間がない」とあせるのではなく、**「絶対に合格するんだ！！」**という強い精神力と覚悟を持って、プラス思考で着実に勉強を進めてください。

★募集要項★

まだの人はテレメール等を利用して至急取り寄せましょう。共通テスト自己採点の結果、**志望校が変更になる可能性のある大学の願書も取り寄せておくこと**。分析データ到着後では間に合わないことがあります。いろいろな雑誌やネット上に入試情報が載っていますが、雑誌等の情報だけだと、まれに間違いがあったり、読み違いが生じたりしますので、**受験大学の入試科目・日程等については，必ず募集要項で確認しておいてください。**

★試験会場の下見を★

下見をしておくと、試験会場に慣れることも含めて、心理的に大きく違います。本番と同じ時間帯で下見をすれば、ラッシュの状態もわかります。共通テスト会場の**文教大**に訪れたことのない人は下見をしてください。詳細は受験票で確認してください。準備をしておけば気持ちが落ち着きます。逆に初見だとちょっとしたハプニングがあった場合に心の余裕を失います。得点にも影響することもあるので準備は万全にしましょう！

それから**持ち物での盲点は時計**です。普段携帯やスマホで済ませている人は、余計な機能のない腕時計や秒針音のしない小型時計を準備しておきましょう。

★勉強を「朝型」に★

冬休み中も「早寝早起き」の規則正しい生活に取り組んでください。試験は通常午前中（９：３０前後）から開始されます。試験時間には、頭がフル回転した状態で臨めるように！

★健康第一★

風邪をひきやすい季節です。試験当日を元気に迎えられるように、健康管理には十分気をつけてください。

①外から帰ったら必ずうがい・手洗いを！
②睡眠時間を十分に！
③気分転換もかねて軽い運動を！
④コロナウイルス・インフルエンザ対策

★共通テストまでにもう一度確認しておこう★

- □ 模試などで、あいまいだった問題を確認しておこう（「解答解説」に線を引いておこう）
- □ 共通テストの出題形式に慣れよう（模試や問題集を活用しよう）
- □ 時間配分の感覚を身につけておこう（時間内に解き終える練習をしよう）
- □ 地歴公民、理科の受験する順番をあらかじめ決めておこう（「第一解答科目」と「高得点科目」のどちらを合否判定に利用するかは大学によって異なることがあるので要注意。大学の募集要項を確認しよう）
- □ 自己採点が正確にできるように練習しておこう
- □ 1科目につき、あと2問ずつは確実に解けるように勉強しよう（1問は2～4点ある）

★模試の復習・間違い（MY/オリジナル）ノートの復習★

繰り返しになりますが模試の復習をしていますか？センター試験や大学入試には必ず皆さんがどこかで出会った問題と似た問題が出題されます。もう一度やり直してみましょう。また、皆さんが使い込んだノートは学習面だけでなく精神面でも心の支え・お守り的な存在となってくれることでしょう。

甘えず、あせらず、あきらめず…

ここでしぶとく頑張れば、さらなる伸びが期待できます。

★苦手科目・分野に取り組む★

模試や問題集の演習を通して，苦手科目・分野は把握できていると思います。冬休みは，その苦手科目・分野で設定した点数が取れるように、取り組んでください。つまり、ある程度集中して苦手科目・分野をやった方がよいでしょう。得意科目・分野の得点を 80%→90%にアップするより，苦手科目・分野を 30%→50%にアップする方が容易です。苦手科目・分野はまだまだ伸びる余地が残っています。また「知識問題」に穴がある人は追い込みをかけてください。ただし、得意であっても例えば英語の長文などは毎日読む必要があるので、学習分野の偏りすぎには注意。バランスよく！

★共通テスト直前・直後対策★

冬休み中は、共通テスト(センター過去問)や各予備校のパック等で十分練習を積んでください。

ただし、私大対策や国公立二次対策の勉強とのバランスは慎重に考えて計画してください。

★赤本・問題集の返却を★

返却されていない赤本などがあります。
それから中に入っている CD が行方不明のものもあります。見たい・借りたい人がいますので，**至急返却**してください。マナーを守って利用しましょう。

本日（２３日）以降に貸し出した本は，
１月８日（木）の登校日に返却となります。
ただし、一人一冊までとします。

★校内共通テストプレ参加者へ★

１２月２４・25 日に本番の共通テスト当日と同じ時程で行われます。解答の時間配分はもちろんのこと、空き時間の過ごし方、昼食・おやつ・持ち物に至るまでシミュレーションしておくといいでしょう。鉛筆は当日使うものを用意して慣らしておくのもいいでしょう。**１月１８・１９日の本番では入室終了の時刻から試験開始までの１５分間（１日目の地歴は２５分間も）一切何もできません。また、空き時間に前の時間の試験の答え合わせをして出来具合を引きずるのは絶対に NG です。**

※ただし、校内プレはまだ「学習」を兼ねている段階です。時間ももったいないのでチャイムが鳴るまで勉強することは可です。また本番ではあまり多くの参考書類は持っていかない方がよいでしょうが、校内プレでは必要なものは持っていって空き時間に勉強しましょう。

★冬休み中の進路室利用★

冬休み中進路閲覧室の開放は、
8:30～16:30：12 月 24(水)・25(木)・26(金)、
１月５日(月)・６日(火)・７日(水)

時間は、**変更となる場合があります**ので、なるべく**本日中に必要な用事は済ませてください。**

Q　共通テスト「第１解答科目指定」とは？～募集要項で必ず確認!!

地理歴史・公民、理科において、**教科内で１科目のみを合否判定に利用する大学では、２科目受験した受験生の成績は高得点の科目ではなく、第１解答科目（地理歴史・公民、理科で１科目に受験した科目）を指定するケースがあります。**

特に、**国公立大学では多くの大学が第１解答科目を利用するほか、私立大学でも難関大学を中心に第１解答科目を利用します。**どの順番で解答するかは共通テスト当日に自由に選べるため、得意科目を第１解答科目で解くのが基本です。**ただし、なかには特定の科目を第１解答科目に指定する大学もあります。志望校が特定の科目を設定している場合は、それに従って受験しなければなりません。**志望校の利用方法について募集要項で確認しておきましょう。